

令和8年5月18日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

## 高校生のためのミライの先生セミナー（全5回）の開催について

山梨大学教育学部では「高校生のためのミライの先生セミナー（全5回）」を開催します。

このセミナーは、大学教員のミニ講義、大学生・大学院生や高校生同士の交流を通して、教職に関心のある高校生が教職について学び、語り合い、あらためて教職の魅力にふれてもらう、山梨県内で初めての高校生向け連続講座です。

昨年度は4回実施しましたが、県内外54校から多くの高校生が参加し、約93%の参加者が「先生になりたい気持ちが強くなった」と答えるなど、大変好評でした。今年度は、高校生の声をもとに、開催回数を5回に増やす、学生や現職の先生との交流時間や参加する学生数を拡充するなど、内容をより充実させて開催します。

山梨大学は、文部科学省の地域教員希望卒事業に選ばれ、教員を目指す人材（特に、小学校）を育て、山梨の教育現場に安定して送り出すことを目指す取組を進めています。山梨大学の令和6年度卒業生の教員就職率※は74.2%で、初めて全国の国立教員養成大学・学部で13位/44校という高い就職率を記録しました。取組を通して、地域の教員不足に応えたいと考えています。

つきましては、次のとおりセミナーを開催しますので、取材ならびに報道でのご紹介を何卒よろしくお願い申し上げます。

※教員就職者数を、卒業者数から進学者数および保育士就職者数を除いた人数で割った、教員志向者に対する就職率

- 開催日：第1回 6月 7日(日)  
第2回 7月12日(日)  
第3回 8月 9日(日)  
第4回 9月20日(日)  
第5回10月11日(日)
- 時間：各回 13:00～16:10
- 対象：県内外の高校生（学年不問）
- 開催場所：山梨大学甲府西キャンパス（山梨県甲府市武田4-4-37）M-12教室
- 開催方法：対面及びオンライン（Zoom）での同時開催
- 開催内容：第1回 教えるということ  
第2回 子どもと向き合うこと  
第3回 子どもの学びを支えること  
第4回 子どもに寄り添って進むこと  
第5回 教員になるということ（各回とも講義＋意見交流）
- 取材：取材を希望される報道関係者の方は、当日12:30までに会場へ直接お越しください。

### 【本件に関する問い合わせ】

山梨大学教育学域支援課総務グループ  
TEL：055-220-8104  
E-mail：edu-hs@yamanashi.ac.jp

### 【広報に関する問い合わせ】

山梨大学総務企画部総務課広報・渉外室  
TEL：055-220-8005  
E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

# 高校生のためのミライの先生セミナー2026

高校生の「先生になりたい」を応援します。



実施日

テーマ

第1回

6/7日

教えるということ

第2回

7/12日

子どもと向き合うこと

第3回

8/9日

子どもの学びを支えること

第4回

9/20日

子どもに寄り添って進むこと

第5回

10/11日

教員になるということ

申込

5/1~5/31

6/1~7/3

7/6~8/3

8/10~9/11

9/14~10/5

【申込期間】  
実施回で  
異なります。



※各回の申込期間にQRコードを読み込み、フォームに入力して申し込んでください。

おすすめは5回参加！1回だけでも、もちろんOK！

対象

教職に興味・関心のある県内外の高校生

※「ミラせん」修了者には実施回ごとに修了証を授与します。

会場

対面とオンライン(ハイフレックス方式)

※対面会場:山梨大甲府キャンパス M12教室

※オンライン:Zoomを使用、前日までに申込時に登録するメールアドレスへ、参加のためのURL、ID等をお送りします。

内容

学び①:大学の先生の講義(70分)

学び②:現職の先生・学生の体験発表

→発表者+参加者で意見交流(90分) ※詳細は裏面

時間割

13:00~13:10 開会  
13:10~14:20 学び①  
(10分休憩)  
14:30~16:00 学び②  
16:00~16:10 閉会



# ミラせん 学びの内容

## 第1回

6/7

教えるということ

### 学び① 子どもとともに希望を紡ぐ

幼児教育講座 高橋 英児 (たかはし えいじ) 教授

「教えるとは、希望を語る。学ぶとは、誠実を胸に刻むこと」—フランスの詩人、ルイ・アラゴンの詩の有名な一節です。教育は、子どもたちが現在と未来を幸福に生きることができるようになるように育む営みですが、大人が一方向的に教え導くのではなく、大人もまた子どもに教え導かれています。教育とは、大人と子どもが関わり合い、共に成長する「共育」でもあるのです。講座では、様々な事例を通して、この教育(共育)という営みについてみなさんと一緒に考えていきたいと思います。

申込 5/1~5/31

### 学び② 「教える」ことと「教職」の魅力について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

## 第2回

7/12

子どもと向き合うこと

### 学び① 体験！子ども理解：プロの視点で「子どものネット利用」を考える

やまなし小学校教育講座 若本 純子 (わかもと じゅんこ) 教授

心のプロである心理学者は、どのようにして子どもを理解しているのでしょうか。子どものネット利用を題材として、プロの視点を共有し、みんなと意見を出し合いながら、子ども理解についてともに考えていきましょう。

申込 6/1~7/3

### 学び② 「子どもと向き合う」ことと「教職」の魅力について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

## 第3回

8/9

子どもの学びを支えること

### 学び① ICTで学びを加速させる

附属教育実践総合センター 三井 一希 (みつい かずき) 准教授

皆さんはパソコンやインターネット、生成AIなどのデジタル技術(ICT)を普段どのように使っていますか?この講座では、実際にICTやクラウドツールを使いながら、学校の授業でどのように活用できるのかを体験します。ICTを使うと学び方はどのように変わのでしょうか。ICTが得意な人も苦手な人も大丈夫!これからの授業づくりと一緒に体験してみましょう。

申込 7/6~8/3

### 学び② 「学びを支える」ことと「教職」の魅力について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

## 第4回

9/20

子どもに寄り添って進むこと

### 学び① 一人一人の子どもに応じた教育 ～特別支援教育の視点から～

教職大学院教育実践創成講座 望月 公 (もちづき こう) 教授

学校って、楽しいところであってほしいですね。仲のいい友達がいる。おもしろい先生がいる。好きな部活動がある…。そして、新しいことを学ぶことも学校の楽しさのひとつです。でも、学びにくさや生活しづらさを抱えていて、学校生活の楽しさを味わうことが難しい子どももいます。ここでは、特別支援教育における“子どもに応じた教育”を取り上げながら、「子どもに寄り添う教育」について皆さんと考えていきたいと思います。

申込 8/10~9/11

### 学び② 「子どもに寄り添って進む」ことと「教職」について考えよう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

## 第5回

10/11

教員になるということ

### 学び① それぞれのミライ予想図を描こう

附属教育実践総合センター 中込 司 (なかごみ つかさ) 特任教授

皆さんは将来なりたい職業は決まっていますか。教員の仕事にとっても魅力を感じているけれども本当になれるかなど決めかねている人、教員以外にもなりたい職業がありどちらにしようか迷っている人、恩師のような先生になりたいと思っている人など、それぞれだと思います。将来の道筋を決めるのは自分自身です。この回では、皆さんの思い描くそれぞれの教師像を語り合い、教員を選ぶミライについてイメージを広げていきましょう。

申込 9/14~10/5

### 学び② 私の「教師像」と「教員としてのミライ」について語りあおう。

現職の先生と学生の体験を聴いた後に、参加者と先生と学生で意見交流をする時間です。

お問い合わせ

山梨大学教育学部 TEL: 055-220-8104 (ミラせん担当)  
甲府市武田4丁目4-37 Mail: mirait-as@yamanashi.ac.jp  
アクセス: <https://www.yamanashi.ac.jp/access-map>



至 武田神社



至 甲府駅